

## ホセア書 7:1-10:15 約束された罰

今日はホセア書の7章から10章までを見ていきますが、この箇所では私たちの罪からくる深刻な結末に目を向けていただきたいと思います。この箇所を読むにあたり、ホセアが語りかけた人々は、現代の多くの人々と同じく、自分たちが罪人だとは思ってもいなかったことを覚えていて下さい。既にサマリアで子牛の偶像を拝んでいたイスラエルの民は、明らかに偶像礼拝していたにもかかわらず、聖書の真の神を正しく礼拝していると思っていたことを指摘しました。偽祭司や偽預言者たちに惑わされてそうしたのか、それとも自ら不従順な生き方を選んだのか、その両方であったと思われるが、神は彼らの罪は罰せられると約束されています。今日はこの箇所を通して、神がどのように彼らの罪を罰するご計画なのかを見ていきたいと思います。前置きが長くなってしまいましたが、この書では神の愛に満ちた恵みゆえに、反逆する民がその罰から逃れることもできるのだということを今一度お伝えしたいと思います。

人々や社会が神を拒むとき、神の罰の一つは社会の崩壊であるともいえます。それが7章の最初に見られることです。1、2節を見て下さい。「**わたしがイスラエルを癒やすとき、エフライムの咎、サマリアの悪はあらわになる。彼らが偽りを行い、盗人が押し入り、外では略奪隊が襲うからだ。2** **しかし、彼らは考えもしない。わたしが彼らのすべての悪を覚えていることを。今、彼らの悪行は彼らを取り囲んで、わたしの面前にある。**」ホセアを通して、神は社会犯罪が至る所にあると言われます。ビジネスでの不正、窃盗、強盗、盗賊の襲撃。神への真の礼拝を拒否することによって、神など存在せず何をしていても大丈夫だと言っているのと同じです。ですが2節にあるように、神は人々の悪を全て見ておられます。犯罪行為を通して彼らの社会が崩壊していく中、どこを見ても罪があるという状態です。それは罪そのものの結果であり、神からの罰の一部です。同じことが私の母国であるアメリカでは見られますが、日本は同じ道を辿ってはいないと信じたいかも知れません。この国は仏教と神道という誤った宗教によって形作られた文化的伝統を持つ、大部分が無神論的な国です。ですが、神を拒絶することによって同じように社会が崩壊しているのではないのでしょうか。学校での銃乱射事件は無いかも知れませんが、絶望感が蔓延し、世界で最も自殺率の高い国の一つとなっています。孤児やホームレス、難民など世界中で社会から拒絶されている人々が、ここ日本にもおられます。

罪による社会的混乱だけに留まらず、政治的な混乱もあります。7節は「7 彼らはみな、かまどのように熱くなって、自分をさばく者たちを食い尽くす。自分の王たちもみな倒れる。彼らのうちだれ一人、わたしを呼び求める者はいない。」と言っています。アッシリアに完全に占領される直前、イスラエルの最後の王たちは、自分が王になるために前の王を殺しました。こうした政治構造の崩壊は、民に対する神の裁きです。これらの中に、時に見過ごされてしまう神の罰のもう一つの側面を見ます。それは、神に対して心を固くされ続けるということです。約束された罰、社会の崩壊は、人々を神に立ち返らせるのではなく、神に反抗させ続けることにつながりました。**10-11節を見て下さい。「10** **イスラエルの高慢はその顔に表れている。彼らは、自分たちの神、主に立ち返らず、このすべてがあっても、主を尋ね求めない。11** **エフライムは愚かな鳩のようで、良識がない。エジプトを呼び求め、アッシリアに飛んで行く。」**人々は神に立ち返るのではなく、エジプトに、さらには後に自分たちを征服することになるアッシリアに助けを求めました。**13節の後半から、神は「わたしが贖い出そうとしているのに、彼らはわたしに向かってまやかしを言う。14** **心からわたしに向かって叫ばずに、自分たちの床の上で泣きわめいている。穀物と新しいぶどう酒のためには群がって来る。しかし、わたしからは離れて行く。」**とまで言われています。なぜこれが神からの罰だと言うことができるのでしょうか。イスラエルの民をエジプトの奴隷から解放することを拒んだパロの例があります。モーセは民を行かせなければ神があなたを罰すると言いました。神は次々に災いを送られましたが、パロは神に対して心を頑なにしていきました。ですが出エジプト記:12では表現が変わります。「12 **しかし、主はファラオの心を頑なにされたので、ファラオは二人の言うことを聞き入れなかった。主がモーセに言われたとおりであった。」**これはローマ人への手紙 1:28にも見られます。「28 **また、彼らは神を知ることによって価値を認めなかったため、神は彼らに無価値な思いに引き渡されました。それで**

彼らは、してはならないことを行っているのです。」そして8章では、人々は悔い改め神に立ち返るどころか、自分たちがまだ神の祝福を受けた神の民であると妄想し続けていることが分かります。ホセア書 8:2-4 「2 彼らはわたしに向かって叫ぶ。『わが神よ、私たちイスラエルは、あなたを知っています』と。3 イスラエルは善を退けた。敵は彼らに追い迫る。4 彼らは王を立てたが、わたしによってではない。首長を立てたが、わたしは知らない。彼らは自分の銀や金で自分のために偶像を造った。ただ断ち切られるために。」神の罰を受け、やがて更なる罰を経験することになる人々が、それでもなお自分たちは神を知り、神に仕えていると主張していました。ですが神は、彼らの政治的指導力も富も、神に栄光を帰すものは何一つなく、神の目的に適ったものでもないと言われました。

ですが、彼らの心を頑なにされることと社会的な崩壊は、彼らに対する神の罰の始まりに過ぎませんでした。8章では続けて、7節で「彼らは風を蒔いて、つむじ風を刈り取る。」とあります。今犯している罪が何であれ、彼らが犯してきた全ての罪に対する罰が与えられます。彼らの罪に対する神の怒りは必ず来ます。その罰は人生のあらゆる部分に及ぶものです。政治的、社会的側面では彼らの王たちが殺害されることを示されましたが、彼らが神への礼拝だと思っている偽りの礼拝を含めて、彼らの偽りの宗教もまた罰せられます。ホセア書 8:13 を見て下さい。「わたしへのささげ物のいけにえとして彼らが肉を献げて食べたとしても、主はこれを喜ばない。今、主は彼らの不義を覚え、その罪を罰する。そして14節では、神は彼らの軍事力を象徴する町々を破壊するという罰を約束されます。「14 イスラエルは自分の造り主を忘れ、神殿をいくつも建てた。ユダは、城壁のある町々を増し加えた。しかし、わたしはその町々に火を放つ。火はその宮殿を焼き尽くす。」彼らの知る世界を完全に破壊する日がいつかやって来ます。そして、21世紀に生きる私たちが心に留めておかなければならないことは、罪に対する裁きという神の約束は、イスラエルの民だけではなく、創造主である神の正当な支配という真理を今もなお拒む全ての人々に及ぶということです。ローマ人への手紙 1:18には「不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。」とあります。

この世のほとんど、日本人のほとんどが真理を押し殺して生きています。あるいは今日ここにおられる方の中にもそうした方がおられるかも知れません。その真理とは、この世は主権者である神によって造られ、私たち人間もまた主権者である神によって造られたということです。造られた存在として、私たちは創造主に対して自分の行いに責任を持ち、造られた者として自分の創造主に栄光を帰す人生を生きるべきです。にもかかわらず、私たちは自分の喜びと目的のために生きようとし、ホセア書9章の最初でイスラエルが聞いたのと同じ言葉に直面しています。ホセア書 9:1 はこう言っています。「イスラエルよ、喜ぶな。諸国の民のように楽しむな。あなたは自分の神に背いて姦淫したからだ。」これが自分の罪を認めず、罪の赦しを求めてイエス・キリストへの信仰を通して神の元へ来た人々の状態です。この世でどのような満足を得ようとも、自分の人生や富や権威にどんな良さがあると思おうとも。それら全てのもものが、あなたには神が必要だと思わせないようにします。それらは、あなたが「栄光」を得ていると思えるものかも知れません。人間の栄光に対する神の応答は、9:11のイスラエルの民に対する神の言葉に示されている。「11 エフライム。その栄光は鳥のように飛び去り、産むことも、身ごもることも、宿すこともない。12 たとえ彼らが子どもを育てても、わたしは彼らに子を失わせ、人がいなくなるようにする。わたしが彼らを離れるとき、まことに、彼らにわざわいが来る。」そして17節ではこうあります。「17 私の神は彼らを退ける。彼らが神に聞き従わなかったからだ。彼らは国々の間で、さすらい人となる。」ある時、あなたが誇りとするすべてのもの…人生において神の代わりとなっているすべての偶像…それら全てが滅ぼされます。その時には、神は私たちから離れてしまわれた後ですから、悔い改めの機会はありません。私たちの多くにとっては、罪からの悔い改めの機会がなくなる死んだあとがその時です。マタイの福音書7章によれば、私たちは神の御前に立ち、神は私たちが何を信じたと言うかではなく、私たちの人生が何を本当に信じていると示したかによって裁かれます。マタイの福音書 7:21-23 はこのように言っています。「わたし

に向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。22 その日には多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』23 しかし、わたしはそのとき、彼らにはっきりと言います。『わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』これは、今朝ここにおられるキリストを知らない方々への警告であると同時に、イスラエルの民が自分たちは神に従い、神を礼拝していると信じ続けていたように、自分はキリストに従う者だと主張する全ての人への警告でもあります。皆さんも私も、いつか創造主の御前に立ち、「わたしはおまえを全く知らない」と言われるか、マタイの福音書 25:21 にあるように「よくやった。良い忠実なしもべだ。」と言われる日が来るのです。

10章に入っても同じように、イスラエルの罪に対して神はいつか罰が与えられることを約束されています。ホセア書 10章の1節と2節を見て下さい。「イスラエルは生い茂るぶどうの木。それは多くの実をつけた。実が増えるにしたがって祭壇の数を増やし、その地が豊かになるにしたがって石の柱を豊かにした。2 彼らの心は偽りだ。今、彼らはその罰を受ける。主が彼らの祭壇を壊し、彼らの石の柱を踏みにじられる。」再び、神は豊かさをお与えになったのに、イスラエルはその豊かさを用いて偽りの神々を礼拝しました。そこで神はそれらの偽りの祭壇を取り除かれるといわれます。どれほど多くの祭壇や礼拝所があったのかは分かりませんが、これは神が私たちの周りにある寺や神社を破壊すると言っておられるようなものです。神道や仏教の象徴である日本の神社仏閣に対して、神がその力を向けられるとしたらどのようなことになるか想像できますか。ですが、人々は真の神に対して心をかたくなにしていたので、偽りの聖所が壊されると、神に立ち返るのではなく、偽りの宗教を取り戻すことを願いました。5節を見て下さい。「5 サマリアの住民は、ベテ・アベンの子牛のことでおののく。その民はそのことで喪に服し、偶像に仕える祭司たち、その栄光を喜んでいた者たちも喪に服す。栄光が子牛から去ったからだ。」取り去られたのは偽りの偶像だけではありませんでした。神はホセアを通して、王もいなくなると告げられました。国が完全になくなってしまふのです。7節は「サマリアは滅び失せ、その王は水の面の木片のようだ。」と言っています。ですが、ホセア書 10章の11節からはイスラエルの民と、創造主に対する罪の呪いの下にある私たち全てにとって希望の光が見え始めます。11節と12節を見ましょう。ここで、約束された罰と彼らの街、政府、宗教、家族の滅亡の間に、2つの短い節があります。これらの節は福音の希望と、約束された罪の暗闇と滅びの罰に一筋の光を照らしてくれます。ホセア書 10:11 の後半にはこうあります。「しかし、わたしはその美しい首にくびきを掛ける。わたしがエフライムに乗り、ユダが耕し、ヤコブが馬ぐわを引くようになる。12 あなたがたは正義の種を蒔き、誠実の実を刈り入れ、耕地を開拓せよ。今が主を求める時だ。ついに主は来て、正義の雨をあなたがたの上に降らせる。」

いのちがある限り、贖いと神の罰からの救いの希望があります。ですが、その贖いと罪の赦しを得るには一つしか方法がありません。それは私たちの義です。12節を見て下さい。「あなたがたは正義の種を蒔き」とあります。そうすればその実を刈り取ることができ、神の変わらぬ愛を受けることが出来るのです。しかし、もちろんそれが問題であることを私たちは知っています。ローマ人への手紙 3:23 には明確にかかれています。「23 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」私たちは皆、創造主に対して罪を犯し、姦淫を犯したイスラエルやホセアの妻ゴメルのような者です。既にその罪のために神の罰に値する者たちであり、どれだけ善い行いをしたところで、神の愛を得ることはできません。十分に良い人間とはなり得ないのです。エペソ人への手紙 2:8-9 はこのように言っています。「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。9 行いによるものではありません。だれも誇ることもないためです。」では、解決策は何でしょうか。罪を赦されるためには義人でなければならぬけれど、自分は義人ではない。答えは12節の終わりにあります。「今が主を求める時だ。ついに主は来て、正義の雨をあなたがたの上に降らせる。」義は神ご自身の義からもたらされます。完全に人でありながら、完全な義をもって生きられた、義

で罪のない人でおられるイエス・キリストを信じ、信仰によって神に立ち返るとき、私たちはキリストの義を得、神はその義に基づいて私たちを赦してくださるのです。ピリピ人への手紙 3:8-9 では 8 節の終わりからこのように書かれています。「私がキリストを得て、9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。」自分の義ではなく、イエス・キリストの義を通してでしか、罪に対する神の罰を逃れ、神の祝福を受ける者となる道はありません。イエス・キリストを自分の主として、また救い主として信じ、信頼し、請けいる時、私たちはその義を受け取ることができます。そうしなければ、ホセア書 10 章 15 節で「15 ベテルよ。あなたがたの悪があまりにもひどいので、このようなことがあなたがたになされる。夜明けには、イスラエルの王は全く滅ぼされる。」と、イスラエルの王たちに約束されたのと同じその日が私たちにもやってきます。

キリストに在る兄弟姉妹の皆さん、私たちは自分の信仰に満足し安らぎ、周囲におられるまだキリストを知っておられない人々に約束されているこのやがて来る裁きを忘れてしまいがちです。これは私たちの友人や隣人、家族が直面している事です。もしかすると、キリストを友人に伝えるほど、神の怒りや来るべき罰を私たち自身が信じていないのかも知れません。このようなひとりよがりな信仰は、福音を生き、他の人々に信仰を分かち合うことから私たちを遠ざけ、イスラエルの民にみられたような偽りの礼拝に私たちを導いてしまう可能性があります。信仰はもろいものです。救いを失う可能性があるということではありません。イスラエルの民は、自分たちが神の寵愛を受けていると思い続けていました。最後まで、偽りであってもひとりよがりな礼拝を続け、それを神は満足しておられると思い続けました。罪人が創造主との関係を回復するための答えが福音の良い知らせであるのと同じく、ひとりよがりな霊的生活への答えもまた福音です。私たちは絶えず自分自身に福音を語り続け、私たちの教会で福音の刷新を求め続けなくてはなりません。イエス・キリストから離れては、自分に何の義もないことを知らなくてはなりません。教会として、また個々のクリスチャンとして、私たちは自分の良い行いに信頼するのではなく、イエス・キリストが十字架で私たちのために成してくださった御業にのみ信頼するのです。祈りましょう。

## Hosea 7:1-10:15 The Promise of Punishment

Today as we move into Hosea chapter 7 and work through Hosea 10, I want you to see in this passage the serious consequences of our sin. Now just like many today, as we read through these verses, keep in mind that to the people he is talking to, they did not consider themselves sinners. We have already pointed out that in their worship of the calf idols in Samaria, the people of Israel actually thought they were properly worshipping the true God of the Bible, even when they were clearly worshipping idols. Whether they were misled in that worship by the false priests and prophets or willfully chose to live in disobedience, both of which were likely true, God is promising that their sin will be punished. Let's work through this passage today and see how God plans to punish their sin. But right up front I want to tell you that once again in this book, we will see the escape from this punishment that is still available by God's loving grace to these rebellious people.

When people and societies reject God, **part of God's punishment could be said to be the societal breakdown that happens.** This is what we see as chapter 7 opens. Look at verses 1 and 2. **When I would heal Israel, the iniquity of Ephraim is revealed, and the evil deeds of Samaria; for they deal falsely; the thief breaks in, and the bandits raid outside. <sup>2</sup>But they do not consider that I remember all their evil. Now their deeds surround them; they are before my face.** God is saying through Hosea that social crimes are everywhere. There is dishonesty in business, theft, robbery and attacks by bandits. By rejecting the true worship of God, they have essentially said that he doesn't exist and doesn't care what they do. But as verse 2 says, God sees all their evil. Everywhere he looks he sees their sin, and it is seen in the breakdown of their society through this criminal behavior. I would just say that this is a consequence of sin itself and part of the natural punishment from God for sin. It's easy to see this I believe in my own country of the United States, but maybe we would like to believe that Japan does not follow that pattern. Here, we have a mostly atheistic nation with a cultural tradition largely formed by the false religion of Buddhism and Shinto. But isn't there a breakdown of society here because of rejection of God as well? We don't have school shootings, but there is an epidemic of hopelessness that has led to one of the highest suicide rates in the world. There are plenty of people orphans, the homeless, refugees who face rejection from society not only in other places in the world but here in Japan as well.

There is not only social upheaval due to their sin, but there is political chaos. Verse 7 says, **<sup>7</sup>All of them are hot as an oven, and they devour their rulers. All their kings have fallen, and none of them calls upon me.** Israel will have several of their last kings before being completely taken over by the Assyrians, who kill the previous king in order to become king. This breakdown in political structure is God's judgement on the people. **But yet in all of this we see another aspect of God's punishment that is sometimes overlooked, and that is a continual hardening of their hearts against God.** The promises of punishment, the breakdown of society did not result in turning to God, but in continual rebellion against God. Look at verses 10-11. **<sup>10</sup>The pride of Israel testifies to his face; yet they do not return to the Lord their God, nor seek him, for all this. <sup>11</sup>Ephraim is like a dove, silly and without sense, calling to Egypt, going to Assyria.** Rather than returning to God, they looked to Egypt and even to their eventual conquerors, Assyria for help. In the second half of Verse 13 God even says, **I would redeem them, but they speak lies against me. <sup>14</sup>They do not cry to me from the heart, but they wail upon their beds; for grain and wine they gash themselves; they rebel**

against me. Now why do I say this is in itself a punishment from God. We have the example of Pharaoh when he refused to let the people of Israel go out from their slavery in Egypt. Moses said let my people go or God will punish you. God sent plague after plague where the response of Pharaoh was that he hardened his heart against God. But the in [Exodus 9:12](#), the wording changes. <sup>12</sup> But the [Lord hardened](#) the heart of Pharaoh, and he did not listen to them, as the Lord had spoken to Moses. This is the same idea that is found in [Romans 1:28](#), <sup>28</sup> And since they did not see fit to acknowledge God, God gave them up to a debased mind to do what ought not to be done. But as we move into chapter 8, we see rather than turning to God in repentance, they continued in their delusion that they were actually still God's people with his blessing. [Hosea 8, verses 2-4](#) says, <sup>2</sup> To me they cry, "My God, we—Israel know you." <sup>3</sup> Israel has spurned the good; the enemy shall pursue him. <sup>4</sup> They made kings, but not through me. They set up princes, but I knew it not. With their silver and gold they made idols for their own destruction. The people who were experiencing God's punishment and would soon experience it even more were still claiming to know and serve God! But God points out that nothing they are doing, with their political leadership or their wealth was bringing glory to him or happening according to his purpose for them.

But this hardening of their hearts and the social breakdown that were occurring will only be the beginning of God's punishment for them. As chapter 8 continues, [verse 7](#) says [For they sow the wind, and they shall reap the whirlwind](#). Whatever sin they are committing now will be paid for with a punishment that will account for all the sin they have done. God's wrath will certainly come against their sin. His punishment will extend to every part of their lives. He already pointed out the murder of their kings, in the political civil aspect of their lives, but he also will punish the false religion of their lives, including the false worship they think is actually worship of God. Look at [Hosea 8:13](#) [As for my sacrificial offerings, they sacrifice meat and eat it, but the Lord does not accept them. Now he will remember their iniquity and punish their sins...](#) And as he moves to verse 14, God now promises punishment in the destruction of their cities that represent their military strength. <sup>14</sup> [For Israel has forgotten his Maker and built palaces, and Judah has multiplied fortified cities; so I will send a fire upon his cities, and it shall devour her strongholds. There is coming a day that will bring a complete destruction of the world they know.](#) And what we need to keep in mind as people living in the 21<sup>st</sup> century is that God's promise of judgment against sin extends beyond the people of Israel to all those who even today would reject the truth of his rightful reign over their lives as our Creator. [Romans 1:18](#) says, [For the wrath of God is revealed from heaven against all ungodliness and unrighteousness of men, who by their unrighteousness suppress the truth.](#)

Most people in this world, most people in Japan and maybe some of you here today are living their lives suppressing the truth. The truth is that the world is created by a Sovereign God, and that we as human beings are created by a Sovereign God. As created beings, we are therefore accountable to our Creator for our actions and owe him a life of bringing glory to him as his creation. But, instead we live our lives for our own pleasure and our own purposes, and today we are confronted with the same words that Israel heard as Hosea 9 began. [Hosea 9:1](#) says, [Rejoice not, O Israel! Exult not like the peoples; for you have played the whore, forsaking your God.](#) This is the state of all of those who have not recognized their sin and come to God through faith in Jesus Christ for forgiveness of their sin. Whatever satisfaction you find in this life, whatever

good you think you have in your life or riches or authority. All of these things that keep you from thinking you need God. They are the things you might say that you take “glory” in. And God’s response to the glory of man is seen in God’s words here in [chapter 9 verse 11](#) to the people of Israel. **<sup>11</sup> Ephraim's glory shall fly away like a bird— no birth, no pregnancy, no conception! <sup>12</sup> Even if they bring up children, I will bereave them till none is left. Woe to them when I depart from them!** Then dropping down to verse 17, **17 My God will reject them because they have not listened to him; they shall be wanderers among the nations.** At some point, all the things you glory in…all the idols that take the place of God in our lives…will be destroyed. At that point there will be no chance to repent, because God will have departed from us. For most of us this will come after we die, when there is no chance for repentance from our sin. We will stand before God and according to Matthew 7, he will judge us not on the basis of what we said we believed, but what our lives showed that we truly believed. [Matthew 7:21-23](#) says **21 “Not everyone who says to me, ‘Lord, Lord,’ will enter the kingdom of heaven, but the one who does the will of my Father who is in heaven. 22 On that day many will say to me, ‘Lord, Lord, did we not prophesy in your name, and cast out demons in your name, and do many mighty works in your name?’ 23 And then will I declare to them, ‘I never knew you; depart from me, you workers of lawlessness.’** This is a warning to those who don’t know Christ in here this morning, but also those who claim to be followers of Christ, just as the people of Israel continued to believe they followed and worshipped God. There is coming a day where you and I will all stand before our Creator and either hear the words, **“I never knew you,”** or the words of [Matthew 25:21](#), **well done, good and faithful servant.**

As we enter chapter 10, it starts off in much the same way, continuing to show the coming punishment God is promising for Israel’s sin. Look at verses [1 and 2 of Hosea 10](#). **Israel is a luxuriant vine that yields its fruit. The more his fruit increased, the more altars he built; as his country improved, he improved his pillars.<sup>2</sup> Their heart is false; now they must bear their guilt. The Lord will break down their altars and destroy their pillars.** Again, God gave abundance, and Israel used that wealth to worship false gods, now God will remove those places of false worship. We don’t know how many altars and places of worship there may have been, but this is like God saying that he will destroy the temples and shrines around us. Could you imagine the destruction if God turned his might against the temples and shrines of Japan representing Shinto and Buddhism. But the people were so hardened to their true God that when the places of false worship were destroyed they longed to have the false religion back instead of turning to God. Look at verse 5. **5 The inhabitants of Samaria tremble for the calf of Beth-aven. Its people mourn for it, and so do its idolatrous priests— those who rejoiced over it and over its glory— for it has departed from them.** But it’s not just the false idols that are carried away, again God prophesies through Hosea that the king will be no more. The nation will be completely gone. **Verse 7 says, Samaria's king shall perish like a twig on the face of the waters.** But then starting in verse 11 of Hosea 10, we still see a ray of hope for the people of Israel and all of us who are under the curse of our sin against our Creator. I want to look at verses 11 and 12. Here we have two short verses sandwiched in between promised punishment and destruction of their city, their government, their religion, and their families. These two verses show us the hope of the gospel and shine a ray of light into the darkness of sin and punishment of destruction that is being promised. The second part of Hosea 10:11 says, **but I will put Ephraim to the yoke; Judah must plough; Jacob must harrow for himself.<sup>12</sup> Sow for yourselves righteousness;**

reap steadfast love; break up your fallow ground, for it is the time to seek the Lord, that he may come and rain righteousness upon you.

As long as there is life, there is hope for redemption, for salvation from God's punishment. But that redemption and forgiveness for sin only comes in one way – our righteousness. See there in verse 12, “sow for yourselves righteousness” then you will reap or receive God's steadfast love. But of course we know that creates a problem. Romans 3:23 is very clear. 23 for all have sinned and fall short of the glory of God. We are all in the position of Israel or of Hosea's wife Gomer, we have sinned and committed adultery against our creator. For that sin we have done, we already deserve God's punishment and there is no way for us to earn God's love through any additional good works. We cannot be good enough. Ephesians 2:8-9 tells us...8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast. So what is the solution? We have to be righteous in order to be forgiven for our sins, but I am anything but righteous! The answer is right there at the end of verse 12. ...for it is the time to seek the Lord, that he may come and rain righteousness upon you. The righteousness comes from God's own righteousness. When we turn to God by faith believing in Jesus Christ, the completely righteous, sinless man, who was completely God and completely human, but lived perfectly in total righteousness, we gain Christ's righteousness and God forgives us on the basis of that righteousness. Philippians 3:8-9 starting at the end of verse 8 says, in order that I may gain Christ 9 and be found in him, not having a righteousness of my own that comes from the law, but that which comes through faith in Christ, the righteousness from God that depends on faith— The only way to escape God's punishment for sin and move into a position of God's blessing is through a righteousness that is not our own, but that of Jesus Christ. We are given that righteousness when we believe and trust and accept Jesus Christ as our Lord and our Savior. Without that, there is coming a day for all of us that just like the king of Israel is prophesied about in verse 15 as Hosea 10 ends, <sup>15</sup> Thus it shall be done to you, O Bethel, because of your great evil. At dawn the king of Israel shall be utterly cut off.

And Christians, we can get complacent and comfortable in our faith and forget that this coming judgement is promised to those around us who are without Christ. This is what our friends and neighbors and family members are facing. Perhaps the truth is that we don't really believe in the wrath of God, this coming punishment, enough to share Christ with our friends. This complacency can keep us from living out the gospel and sharing our faith with others and can lead us to false worship that we see in the people of Israel. Faith is fragile – I don't mean you can lose your salvation. The people of Israel thought that the entire time they were actually in God's favor. Right up until the end, they were complacent in their worship that although false, they thought was fine with God. And just as the answer for sinners to be restored to our Creator is the good news of the gospel, the answer for complacency in spiritual life is also the gospel. We must continually preach the gospel to ourselves and seek gospel renewal within our church. We have to see that apart from Jesus Christ, we have no righteousness of our own. So as a church or as individual Christians, we cannot trust in our good works, but only in the work of Jesus Christ that he did for us on the cross. Let's pray.